これまでに急性腹症に対する手術を受けた患者さんへ
【過去の治療データ/検体等の調査研究への使用について】

神戸市立医療センター西市民病院消化器外科では、京都大学医学部附属病院消化管外科および共同研究機関で行われている、高齢者の消化管穿孔および急性腸管虚血における術後 ADL（Activities of Daily Living（日常生活動作）：食事、排泄、入浴、移動など、人が独立して日常生活を送るために必要な基本的動作のことです。医療・介護現場では、患者の身体機能や自立度を測る指標として、リハビリの目標設定や介護レベルの判定に用いられます。）・低下リスク因子の検討（多機関共同コホート研究）という臨床研究に参加しています。

この研究の目的は、高齢者の消化管穿孔および急性腸管虚血に対する治療成績を調べ、術後 ADL が低下しやすい患者さんを同定することです。本研究により、早期介入および術後経過の改善につなげることが可能となります。
そのため、過去に手術を受けた患者さんのカルテに保存されているデータ（年齢、性別、疾患名、手術の術式、手術前後の治療、手術の成績など）を使用させていただきます。

〇対象となる期間・収集期間

調査対象期間	西暦　２０２０年１月１日　から　西暦２０２４年１２月３１日
データ収集期間	審査委員会承認後から西暦　　２０２８年　３月３１日

〇調査研究の対象

これまでに手術を受けた患者さんのカルテに保存されているデータ（年齢、性別、疾患名、手術の術式、手術前後の治療、手術の成績など）。
過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはありません。

〇個人情報の取り扱い

使用するデータは個人が特定されないよう、匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。
また、研究成果は学会や科学専門誌などの発表に利用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることなく、個人情報は守られます。

〇利用の範囲

神戸市立医療センター西市民病院　消化器外科
京都大学医学部附属病院消化管外科および共同研究機関
共同研究機関一覧
医学研究所北野病院　消化器外科
大阪赤十字病院 消化器外科
大津赤十字病院 外科
関西電力病院 消化器外科
京都市立病院 総合外科

神戸市立医療センター中央市民病院 外科
神戸市立医療センター西市民病院 消化器外科
神戸市立西神戸医療センター
国立病院機構 京都医療センター 外科
国立病院機構 姫路医療センター 消化器外科
公立小浜病院 外科
公立豊岡病院 消化器外科
小倉記念病院 外科
滋賀県立総合病院 外科
神鋼記念病院 消化器外科
高松赤十字病院 消化器外科
天理よろづ相談所病院 消化器外科
彦根市立病院 消化器外科
兵庫県立尼崎総合医療センター 消化器外科
福井赤十字病院 消化器外科
洛和会音羽病院 外科

〇本研究の利益相反について

この研究は消化管外科運営交付金を資金源とし、利益相反については「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント」に従い「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査しています。
もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合は、お手数ですが、下記の問い合わせ先まで連絡ください。同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

1) 神戸市立医療センター西市民病院の窓口
神戸市立医療センター西市民病院　消化器外科
研究責任者　/　連絡担当者：：口分田尭
TEL：078－576-5251（代）

2) 研究課題ごとの相談窓口
京都大学医学部附属病院消化管外科医局
水野良祐
〒606-8507　京都市左京区聖護院川原町 54
TEL：075-366-7595

3) 京都大学の相談窓口
京都大学医学部附属病院臨床研究相談窓口
TEL：075-751-4748

E-mail：ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp